

事務連絡
令和2年11月24日

林業・木材産業関係団体 御中

福井県農林水産部長
(公印省略)

年末年始における休暇取得の促進等について

年末年始には帰省・旅行や各種行事に伴う飲酒・会食の機会が増加するなど、人の移動が集中し「密」になりがちとなるため、新型コロナウイルスの感染防止対策に留意する必要があります。

年末年始に感染を拡大させないために、下記の通りご協力いただくよう、よろしくお願ひいたします。

記

- 1 集中しがちな休暇を分散させるために、年末年始の休暇に加えて、その前後でまとまった休暇を取得することを奨励する。
- 2 休暇を分散して取得できるよう、年末年始のあいさつや通例行事等の日程を変更する。
- 3 飲酒や会食の機会には、感染リスクを下げる工夫をする。

【参考】

- 福井県ホームページ（新型コロナウイルスの感染症について）
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/kansensyo-yobousessyu/corona.html>
- 福井県庁の取り組み（令和2年11月18日付け通知）
 - ・年末年始における休暇取得の促進について [別添]
- 新型コロナウイルス感染症対策分科会から政府への提言（令和2年10月23日）
 - ・年末年始に関する分科会から政府への提言 [別添]
 - ・分科会から政府への提言（感染リスクが高まる「5つの場面」と「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」） [別添]

感染リスクを下げながら親睦会を楽しむ工夫

[推進期間：11月～1月31日]

○ 開催時期を11月～1月に分散

- ・12月下旬の開催に集中せずに、時期を計画的に分散して開催しましょう！

○ 人数は少人数で

- ・課員を少人数にグループ分けしましょう！

(例)・課長班・参事班・課長補佐班…
・主事会・主査会・G.L会…
・くじ引きで、Aグループ・Bグループ・Cグループ…
・行きたいお店で、フレンチ派・越前がに派・ステーキ派…

※業務継続の観点から、課長と課長補佐はグループを分ける、同じグループ員は分散させるなどの工夫をしてください。

？楽しむポイント：

他のグループ員など、普段は交流が少ない課員と交流を深めましょう

○ 「感染防止徹底宣言」ステッカー掲示店で

- ・「感染防止徹底宣言」ステッカーが掲示されている店舗で、店舗が実施している対策に協力しましょう！

？楽しむポイント：

少人数のグループで話し合って、行きたいお店を決めましょう

○ 時間は短めに

- ・時間は短く、深酒・はしご酒などはひかえましょう！

？楽しむポイント：

2次会に使う予定だった親睦会費で、テイクアウトも利用しましょう

○ 感染防止対策を徹底

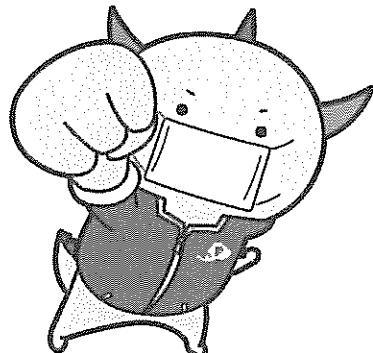
- ・注ぎ合いや回し飲み、箸などの共用はせず、一人ひとりで
- ・会話をする時はマスクを着用、または扇子やハンカチを口にあてましょう！

親睦会を楽しむために

□ 参加者同士で、お互い確認し合いましょう

チェック	内 容
<input type="checkbox"/>	体調が悪い人はいませんか ※体調が悪い人は参加しないようにしましょう
<input type="checkbox"/>	少人数ですか
<input type="checkbox"/>	正面や真横はなるべく避けて座っていますか
<input type="checkbox"/>	店舗が実施している感染防止対策に協力していますか ※「感染防止徹底宣言」ステッカーが掲示されている店舗で、店舗が実施している対策に協力しましょう
<input type="checkbox"/>	注ぎ合いや回し飲み、箸などの共用をしていませんか
<input type="checkbox"/>	会話をする時はマスクを着用、または扇子やハンカチを口にあてていますか
<input type="checkbox"/>	時間は短めにしていますか ※深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で楽しみましょう

感染リスクを下げながら、
親睦会を楽しもう！



感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狹い空間での共同生活

- 狹い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寝の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

